

## 建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在サンクトペテルブルク日本国総領事館

記入日 2013年12月23日(月)

### 1. 現地の建設工事に係る経済情報

以下は連邦統計局のサイトからの情報。

#### サンクト・ペテルブルク市

資料名：2013年1月から10月までにペテルブルク市内で215万6300平方メートルの住宅が建設された。

資料名：2013年1月から10月までにペテルブルク市で建設分野に2738億256万ルーブルが支出された。

URL:[http://www.gks.ru/wps/wcm/connect/rosstat\\_main/rosstat/ru/statistics/enterprise/building/](http://www.gks.ru/wps/wcm/connect/rosstat_main/rosstat/ru/statistics/enterprise/building/)

#### レニングラード州

資料名：2013年1月から10月までにレニングラード州で96万3100平方メートルの住宅が建設された。

資料名：2013年1月から10月までにレニングラード州で建設分野に604億7840万ルーブルが支出された。

## 2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

特に無し。

## 3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	<p><u>サンクト・ペテルブルク市</u></p> <p>市行政府投資評議会（ポルタフチェンコ知事が議長を務める）は、「アプラクシン・ドゥヴォール」商業地区の改革コンセプトを承認。</p> <p>(1) 場所：地下鉄駅「センナヤ広場」付近（面積12ヘクタール）。</p> <p>(2) 投資規模・額：不明（1000万ルーブル超との試算有り）。</p> <p>(3) 形式：PPP（可能性のひとつとして）。</p> <p>(4) 期間：2014年6月開始。</p> <p>(5) 概要：「ティムール・バシカエフ建築事務所」（モスクワ。9月に落札）の案によれば、歴史的価値のある建物は全て残し、60%を商業施設、40%が文化施設となる。市は、コンサルティングだけでなく、財政面でもプロジェクトに参加。</p>	<p>2013/11/28</p> <p>「イタルタス」通信</p>	
2	<p>プルコヴォ空港行きの新しい交通機関が2018年までに登場。</p> <p>(1) 場所：市内からプルコヴォ空港にかけて。</p> <p>(2) 投資規模・額：不明。</p> <p>(3) 形式：不明。</p> <p>(4) 期間：市によるプロジェクト策定後に入札の公示が行われる予定。</p> <p>(5) 概要：市内からプルコヴォ空港に向かう交通機関の建設プロジェクトで、ライトレール・トラム、「アエロエクスプレス」、地下鉄が検討されている。</p>	<p>2013/11/2</p> <p>「イタル・タス」通信</p>	

3	<p>2018年ワールドカップまでにマーラヤ・ネヴァ河に架橋。</p> <p>(1) 場所：ヴァシリー島～セルヌィ島（マーラヤ・ネヴァ河上）～ペトログラツキー島。</p> <p>(2) 投資規模・額：架橋90億ルーブル、交通インフラ整備200億ルーブル（変更になる可能性有り）。</p> <p>(3) 形式：不明（市行政府は民間からの投資を想定）。</p> <p>(4) 期間：不明（2018年までには終了）。</p> <p>(5) 概要：ヴァシリー島～セルヌィ島（マーラヤ・ネヴァ河上）～ペトログラツキー島を結ぶ橋の建設プロジェクト。</p>	2013/11/14	「イタル・タス」通信
4	<p><u>レーニングラード州</u></p> <p>2014年、ガッチナでサッカースタジアム建設開始。</p> <p>(1) 場所：レーニングラード州ガッチナ市。</p> <p>(2) 投資規模・額：20億ルーブル。</p> <p>(3) 形式：PPP（負担率：民間50%、連邦・州50%）。</p> <p>(4) 期間：不明。</p> <p>(5) 概要：収容人数1万人のサッカースタジアム建設。2018年のワールドカップ開催も視野に入っており、ドロズデンコ州知事は、2014年第1四半期にも工事に入れるとしている。</p>	2013/11/12	「リア・ノーヴォスチ」

#### 4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

・「ペトロスタート」（国家統計局サンクト・ペテルブルク市・レーニングラード州支局）によれば、2013年1月～9月までのサンクト・ペテルブルク市に対する直接投資額は、前年同時期の1.5倍にあたる11.4億ドルとなった。外国からの投資では、ドイツ（7億7000万ドル）、オーストリア（6400万ドル）、オランダ（4100万ドル）が上位に入り、外国からの投資額の91%が加工業に対するものであった。